

(明治三陸地震)

山田港 津波防災情報図 (進入図)



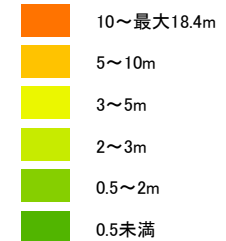
座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最高水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.02m (-0.03m ~ -0.01m)
Zo： 0.86m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

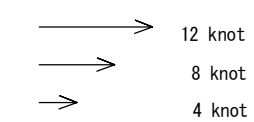
最大水位上昇



経時変化図出力点

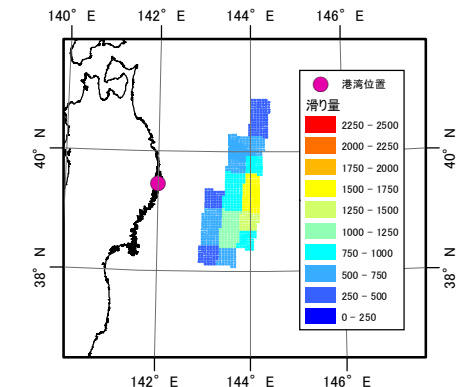
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]



- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル

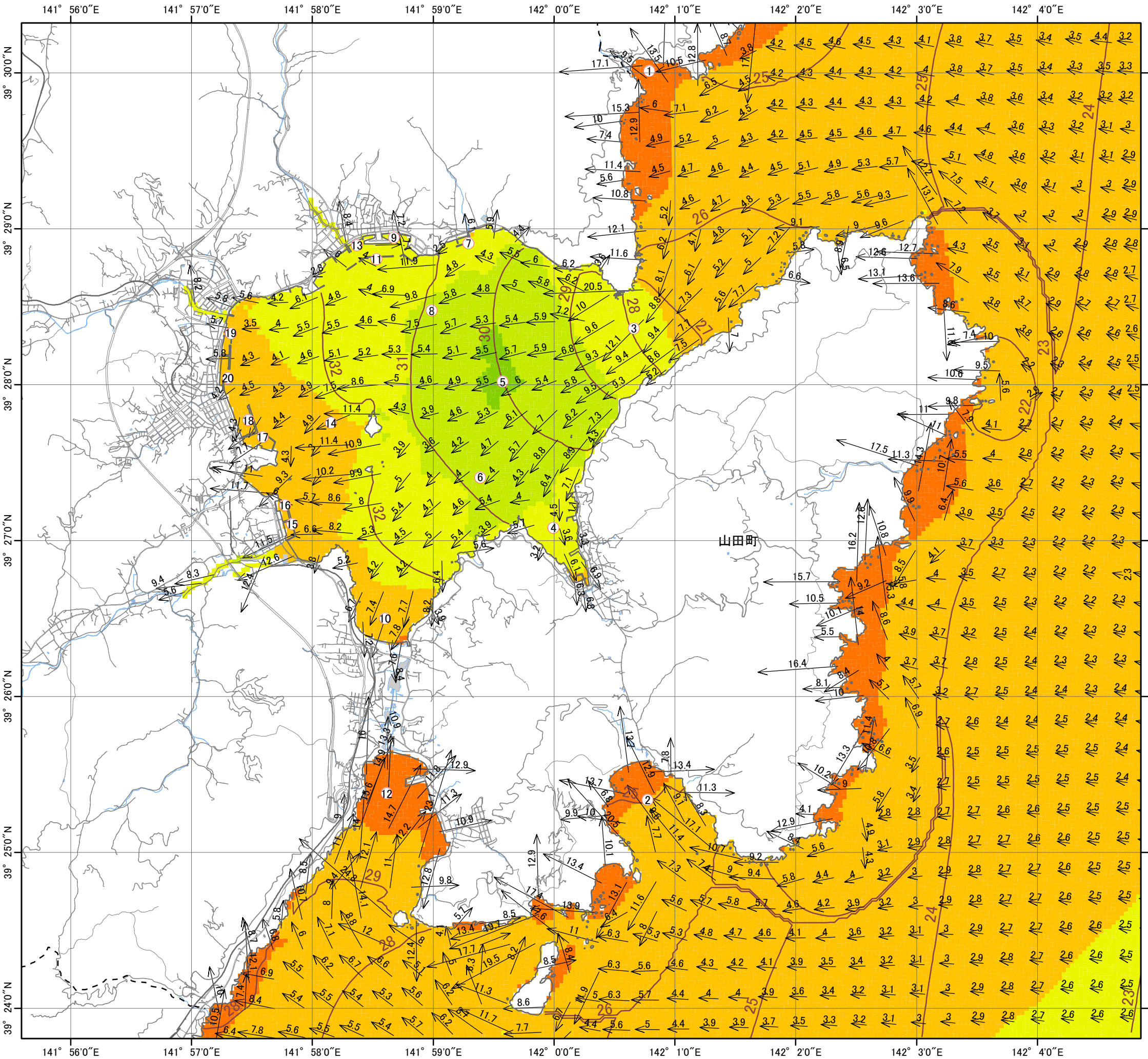


明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成30年5月(初版)
地形データ作成年月：平成30年3月(初版)



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水害データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

